

令和2年11月10日

焼津市指定管理者選定委員長 様

焼津市経済部指定管理者運営評価委員長

大本 裕一

焼津市経済部指定管理者運営評価委員会報告書

施設名	焼津市駿河湾深層水体験施設（アクアスやいづ）
事業年度	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで
指定管理者	株式会社ブルーアースジャパン
担当者	漁港振興課（深層水担当）

委員会報告事項	評価
令和2年10月13日に本委員会を開催し、令和元年度の焼津市駿河湾深層水体験施設（アクアスやいづ）の運営について、指定管理者の事業報告及びヒアリングを経て、審議を行った。 令和元年度のアクアスやいづの年間延べ利用者数は、前年度より7,545人減少し87,596人の利用者数であった。主な要因として、年度末に新型コロナウイルス感染症の影響により利用制限や一部事業の休止を依頼したことや、競合店の出店に伴う会員数の減少が考えられる。しかし、自主事業であるカルチャー事業は事業拡充したことにより増加した。 収支についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少となった。減収となった分を光熱費、販促費などの削減により支出を抑え経営努力を行ったが、マイナス収支となった。 運営全般としては、光熱水費、販促費などの経費削減による経営努力や、自主事業を積極的に行っており、運営の改善へ向けた努力は評価できる運営である。 また、利用者アンケートを通じて利用者からの要望、苦情、相談を迅速・丁寧に対応しており、昨年度に引き続き良好な評価を獲得し、利用者満足度が高い安定した運営を継続している。 今後においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が予想されるが、アクアスやいづの深層水体験施設としての特徴を活かし、近隣クラブとの差別化により会員や利用者の新規獲得に取り組みにより収支の改善に努められたい。 以上、深層水体験施設（アクアスやいづ）の運営については、本委員会として委員全員「適正」とあるとの結論に達した。今後も健全経営に向けた運営と、若年層の会員獲得に向けた様々な取り組みが積極的に展開されることを期待する。	適正